

資料(3)

PHARM-2E分析法 記入用紙

「事例概要」		PRACTICE(調剤)	HUMAN(人)	APPLIANCE(機器・物・表示)	RELATION(連携)	MANAGEMENT(組織・管理)
事故レベル(0 1 2 3 4 5)		調剤手順 ☐ 処方鑑査 ☐ 薬剤の調製 ☐ 調剤薬鑑査 調剤環境 ☐ 処方せんの集中 ☐ 複雑な調剤 薬学的管理 ☐ 薬歴の管理、確認 ☐ 相互作用・重複の確認 ☐ 副作用歴の確認 ☐ 薬剤アレルギー歴の確認 ☐ 禁忌薬剤の確認	身体的・肉体的状況 ☐ 睡眠不足・疲労 心理的・精神的状況 ☐ 焦り・ストレス・注意不足 能力 ☐ 知識不足 ☐ 経験不足 怠慢・違反 ☐ 業務マニュアルの未遵守 ☐ 迅速な対応の遅れ	医薬品 ☐ 薬剤特性 ☐ 薬剤類似・複数規格 ☐ 薬剤配置・検品・充填 機械・機器 ☐ コンピューター ☐ 調剤機器・秤量機器 記載・表示 ☐ 薬剤情報提供文書 ☐ お薬手帳 ☐ 薬袋 ☐ ラベル表示	薬剤師⇔患者 ☐ 薬剤交付時・患者確認 ☐ 情報提供・服薬指導 薬剤師⇔医師・医療機関 ☐ 疑義照会 ☐ 医療機関・施設との連携 薬剤師⇔薬剤師 ☐ 業務の引継ぎ 薬剤師⇔メーカー、卸 ☐ 発注業務 ☐ 情報伝達	組織・規定 ☐ 勤務体制・業務配分・人員配置 ☐ 業務マニュアルの作成・運営 教育・研修 ☐ 教育・研修の機会の確保 ☐ 患者の安全性確保 管理薬剤師の役割 ☐ 業務管理 ☐ 開設者への意見具申 開設者の役割 ☐ 各種法令等の遵守 ☐ 管理薬剤師の意見尊重 ☐ 従業員の健康管理
要因となった業務段階 ☐ 1. 処方せん受付(本人の確認) ☐ 2. 処方鑑査 ☐ 2-1. 処方内容の確認 ☐ 2-2. 薬歴簿・お薬手帳の確認 ☐ 3. 疑義照会 ☐ 4. 薬剤の調製 ☐ 4-1. 錠剤・カプセル剤 ☐ 4-2. 散薬・顆粒剤 ☐ 4-3. 内服液剤 ☐ 4-4. 注射剤(インスリンなど) ☐ 4-5. 外用剤 ☐ 4-6. その他(薬剤の補充・充填、予製) ☐ 5. 薬袋・ラベルなどの作成 ☐ 6. 最終鑑査 ☐ 6-1. 処方鑑査の再検討 ☐ 6-2. 調剤薬鑑査 ☐ 6-3. 薬袋ラベルなどの再確認 ☐ 7. 薬剤の交付(本人の確認) ☐ 8. 服薬指導 ☐ 8-1. 薬効説明 ☐ 8-2. 用法説明 ☐ 8-3. 副作用説明 ☐ 8-4. 薬剤情報提供文書の提供 ☐ 8-5. お薬手帳への記載 ☐ 9. その他(受発注など)		要因(例)	具体的要因			
対応策(例)	ENFORCEMENT(教育・強化) ・知識習得 ・技術習得 ・注意喚起					
	ENGINEERING(技術・具体例) ・システム導入 ・表示の工夫 ・手順見直し ・マニュアル化					